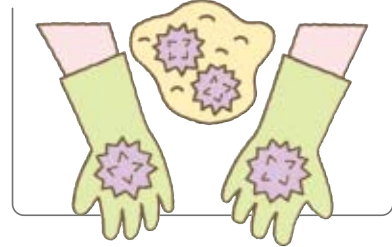


ノロウイルスの感染経路について

付着



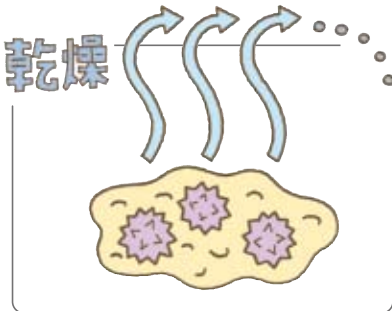
- 吐しゃ物、ふん便を処理後、手に付着したウイルスが口に入った場合

感染者

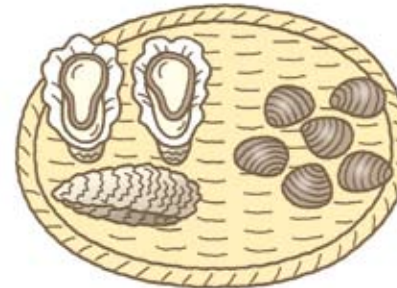


- 感染者が十分に手を洗わずに調理を行い、ウイルスが付着した食品を食べた場合

乾燥



- 吐しゃ物が乾燥して舞い上がり、口に入った場合



- ノロウイルスを内臓に取り込んだカキやシジミなどの二枚貝を、生または不十分な加熱処理で食べた場合



ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、上記のようにヒトからヒトへの感染と汚染した食品を介して起こる食中毒に分けられます。感染性胃腸炎とは、主にウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。原因となるウイルスには、ノロウイルスの他に、ロタウイルス、サポウイルス、アデノウイルスなどがあり、主な症状は腹痛、下痢、嘔吐、発熱などです。これらを予防するための重要なポイントは石けんと流水で十分に手を洗うことです。また、吐しゃ物の処理方法は、裏面を参照してください。